

たより

川合分団激励横断幕設置

7月7日(日)の第67島根県消防操法大会に向けて、選手は県大会まで大田市消防本部の訓練場で職員から指導を受けて訓練に励んでいます。川合町消防後援会では、激励の横断幕を川合町の交差点に5月末に設置しました。



川合町消防後援会

通いの場

6月12日は、川合小学校との交流でした。今年、3・4年生13名が来てくれました。子どもたちの出し物「われら川合っ子フレンドズ」は、歌声も素晴らしい、ダンスもとてもパワフルでした。今回の交流は、利用者さんが考えたゲームを一緒にしました。牛乳パックリレー、スカイツリーゲーム、豆つ子ゲームです。会場が一気に熱を帯びたのは、スカイツリーゲーム。1センチ幅に切った牛乳パックを積み上げ、高さを競い合います。慎重に積み上げる子、倒れないようにバランスを取る人、いつの間にか協力体制がつくられます。「勝負は関係ない」といいながらも、皆さん真剣でした。10月の交流も楽しみです。

7月の予定

- ◇7月3日(水) 健康講座と折り紙
- ◇7月10日(水) 誕生会とミュージックケア
- ◇7月17日(水) フラダンスとビンゴゲーム
- ◇7月24日(水) 災害対策の話と音楽鑑賞
- ◇7月31日(水) 余興乙女組による歌とダンス

【参加者募集】

通いの場では、新規の参加者を募集中です。いつでも元気に暮らせるよう、一緒に楽しく介護予防に取り組みましょう。概ね80歳以上の方が対象ですが、75歳以上の方も相談にのります。参加希望の方は、川合まちづくりセンター内、担当石田富美子(電話82-51124)迄ご連絡ください。

川合地域ささえあい協議会

伝承します川合の文化財

川合町文化財めぐり③ 山内俊雄
岩谷九十老翁生誕之地

県道瓜坂川合線の程原バス待合所前で右折し、岩谷橋を渡って直進、ほぼ300m行った左手に広々とした敷地が目に入ります。一辺が65m、もう一辺が55mばかりもあるでしょう。南東寄りに目をやると、高さが123cm、横幅が58cmほどの石碑が建っています。刻まれているのは、正面に大きく「岩谷九十老翁生誕之地」、その左横に小さく「島根県知事恒松治書」と。



この碑はいつ頃建てられたのでしょうか。社会福祉事業団本部に問い合わせたところ、昭和53年1月28日だったことが分かりました。『福寿園開設三十周年記念誌』に記載。

現在、岩谷九十老翁生誕之地は空き地になっていますが、つい最近まで養護老人ホーム「福寿園」がありました。その経緯が『写真でみる大田市のあゆみ—市制施行50周年記念—一九五六(昭和三十一年)の項』に次のように書かれています。

第35回リバーズ講演会

6月15日(土)午後6時30分から、川合まちづくりセンターにおいて「第35回リバーズ講演会」(平成2年が第1回)を開催しました。今回の演題は、『川合神社周辺遺跡と物部氏』です。令和5年度から、南地区の「川合神社」(現在は石碑のみ、当時は栄えていたと思います)周辺の遺跡発掘調査(終了後は、埋め戻されて圃場整備で元の田畑としてプロコリ栽培)が行われ、今年の5月末を持って一区切りしました。講演会では、遺跡発掘の様子と出土品及び発掘の苦労話等の講義を聞きました。出席者は60名でした。



「養護老人ホーム「福寿園」は、市の社会福祉事業における重点施策の一環として昭和三十一年九月一日に開所されました。

—途中略—施設は当地方の先覚者であり、「石見尊徳」とまで仰がれた岩谷九十老翁ゆかりの広範な敷地に建てられ、日々の暮らしは入所者の自主性を尊重し、家庭的な日常生活が営めるよう心配りがなされました。

上の写真は、

元
岩家(正画)

として、大正8年発行の『岩谷九十老正傳』に載っているものです。



お悔み

5月・6月に亡くなられた方

瓜坂 坂根 秀時 様

浅原 清水 功 様

鶴府 松本 サワ 様

謹んでお悔み申し上げます。

香典返し

瓜坂 坂根 康治 様

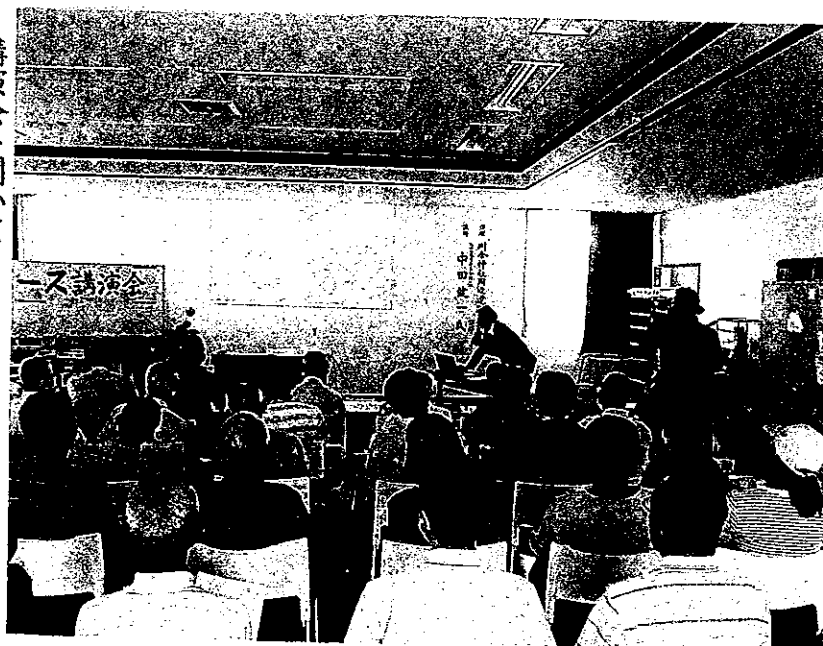
浅原 住田 秀子 様

鶴府 松本 勉 様

3名の方より、香典返しにかえて金一封のご寄付を頂きました。厚くお礼を申し上げます。とともにお知らせいたします。

(川合地区社会福祉協議会)

講師は、大田市教育委員会石見銀山課課長補佐の中田健一さんです。遺跡発掘に当初から携わって、暑い最中も関係者の皆さんと一緒に発掘に記録にと頑張った活動等について苦労話も含めて講義していただきました。



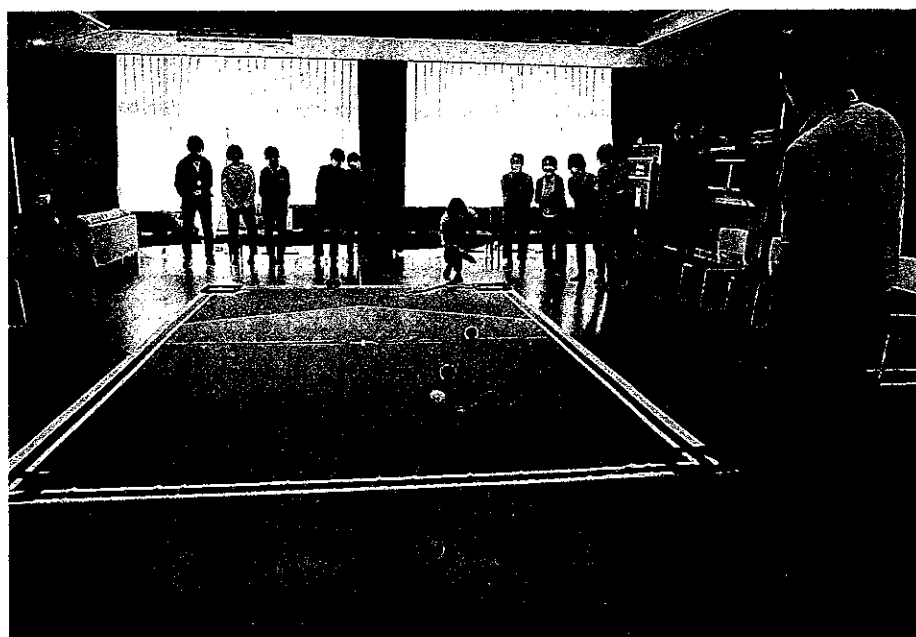
講演会を聞いて、

*出雲地方だけかと思いましたが、川合町にも、素晴らしい遺跡と古代からの川合神社(社があると思っていた)を初めて知りました。*これまでも、何回も講演会に出席しました。地元で出た遺跡にはビックリしました。*文明の発達していない時代でも、出度品を見て改めて昔の人々の知恵と技術に感心しました。

川合まちづくりセンター

さわやかレディース

5月30日(木)、まちづくりセンターにおいて6年度の開講式とレクリエーション及びボッチャを行いました。開講式にはセンター長から1年間休まずに参加されるように話がありました。その後、幸増千世先生からレクリエーションの指導があり、最後には大迫真彦先生からボッチャの指導をしていただきました。皆さん初めてのボッチャに興味深く取り組んでおられました。



川合町体育協会

6月15日(日)、三瓶ダムさひめ湖グランドゴルフ場で第3回川合町グランドゴルフ大会を開催しました。良い天気恵まれ31名の参加がありました。

成績は次の通りです。

- 男子 (11名参加)
 - 優勝 渡邊 岩雄 (神領一)
 - 2位 大野 幸雄 (忍原)
 - 3位 住田 俊明 (忍原)
- 女子 (20名参加)
 - 優勝 松田喜恵子 (吉永上)
 - 2位 渡邊 信子 (神領一)
 - 3位 山本美恵子 (吉永上)



6年度川合町の団体・組織(役員)

○川合小学校教育振興会

- *会長 大島 一修 自治会連合会(町吉永)
- *副会長 坂田 聖二 小学校PTA(市)
- *副会長 川田 勝巳 小学校校長
- *副会長 飯田 勝美 自治会連合会(池田)
- *監事 高木 寛文 自治会連合会(出岡)
- *監事 竹下 登 小学校PTA(出岡)
- *幹事 林 貴弘 小学校(事務職員)

○川合小学校みどり育てる会

- *会長 小林 公司 まちづくりセンター長(瓜坂)
- *副会長 松井 功 みまもりたい会長(出岡)
- *副会長 湯川 司朗 自治会連合会(鶴府)
- *副会長 三浦 靖 学識経験者(程原)
- *副会長 坂田 聖二 小学校PTA会長(市)
- *運営委員 三浦 修 体育協会会長(吉永上)
- *運営委員 大島 一修 教育振興会会長(町吉永)
- *運営委員 坂田 哲朗 じゃくせんクラブ会長(南)
- *運営委員 熊野 俊昭 まちづくりセンター(南)
- *事務局 高木 優 小学校(教頭)

◆青パト講習会◆

6月20日(木)と22日(土)、午後6時30分から『青色防犯パトロール実施者』の3年毎の講習会を川合まちづくりセンターで行います。青パト車は29台で、実施資格者は39名です。

◆自主防災研修会◆

6月29日(土)午前10時〜12時まで、川合まちづくりセンターで自主防災の研修会を行います。内容は、台風・梅雨時期を前にしての対策について島根県の担当者から講義を受けます。講義の中で、避難訓練も行います。ご参加下さい。

川合分団「火の用心」

*全国統一標語

『火を消して 不安を消して つなぐ未来』

《火の用心・その1》



第67島根県消防操法大会は、7月7日(日)に松江市の島根県消防学校で開催されます。選手は、県大会まで大田市消防本部の訓練場においてマンツーマンで職員から指導を受けて訓練に励んでいます。また、選手のみならず、分団員も訓練で使ったホースの撤収や巻き直しを行い選手の訓練を補助しています。皆さん、応援を宜しくお願いします。(大会当日が荒天の場合は、7月28日(日)に同会場で延期して行います)

《火の用心・その2》



消防格納庫点検(機械器具含む)が、5月26日(日)に団本部と消防署によって行なわれました。格納庫内が整理整頓されているか、車両や小型動力ポンプは直ぐに始動が可能なか、消防ホースは巻いて整頓されているか或いは破損箇所はないか、機械器具等に埃が溜まっているか、格納庫の周囲は草刈り等がしてあるか等々です。今年も、3班とも行届いていました。

《火の用心・その3》



梅雨や台風の前線です。ので気象情報及び、災害・避難情報等に関心を持ち注意しましょう。災害が発生しても、避難する・しないについては最後には自分自身の判断になります。正しい情報を知り、デマや間違った情報等に惑わされることなく、早めの情報認知と早い避難行動が自分と家族のためになります。

大田市消防団川合分団
川合町消防後援会

投稿欄

『あっちこっちいく隊 II』

あっちこっち その182

『散歩の1』

昭和の漫才で、「田園調布に家が建つ」と口癖のように言っていました。田舎では、「田園地帯に苗が植わる」で、5月から6月にかけて忙しく田植が行われていました。「家と稲の苗」では大違いです。『家』は風雨や寒暖から守る。「米」は生きていくのに必要な主食で何方も私たちの生活に欠かせないものです。米も今年は値上がりかな?生活に困窮するもの全てが価格上昇、何処まで行けばストップするのかな。何とかならないものでしょうか?

『散歩の2』

6月のある日、縁あって某小学校1年生の授業参観をしました。教室に入るなり、「おじさん見て上手にかけた」と児童が国語の書取りを先生そっちのけで、人懐っこく花マルを見せに次から次へと寄って来ました。先生も、見ていて思わず笑っていました。これも低学年の間だけとは思いますが、こんなに嬉しそうに見せに来る児童を見ると微笑ましく思います。この直な気持ち、成長するまで続くことを願います。

『散歩の3』

5月某日、某保育園の先生と話していると、男の園児が「おっちゃん・おっちゃん」と、「何?」と聞くと「おっちゃん鼻毛が出ていた」と言いました。自分では、そう思っていなかったたので「本当だ?」と言いつつ手を当てると少しのびていました。ただそれだけの会話・・・。(苦笑)

記事を探して「あっちこっちいく隊」

雑記帳

『朝・昼・夜1』

唱歌で、「朝はどこから来るかしら」あの山こえて野をこえて 光の国から来るかしら いえいえそうではありません それは明るい家庭から 朝がくるくる朝が来る おはよう おはようです。がこれを、地球が自転しながら太陽の周りを公転しているから、朝・昼・夜があるのです。では、夢も希望もありません。ふと思った、ただそれだけのことです。

『朝・昼・夜2』

テレビを見ていたら、某局で『天橋立』の番組を放送していました。思わず、60年前のことを思い出しました。名古屋市へ向かう列車の中で、「左手に見えるのが天橋立です」と車内放送されると、高齢の女性が「何処に橋が架かっているのを見えないよ」と車内中に聞こえる声で言いました。多分に、普通の大きな橋が架かっていると思っただけでしょう。番組を見て、ふと思出した半世紀以上昔のこと、ただそれだけのことです。

『朝・昼・夜3』

この秋、同窓会が予定されています。2・3年毎が、コロナ禍で2回飛び喜寿の今年に合わせたものです。ところが出欠のアンケートをしてみると、「体調不良で」「施設に入所です」「足腰が不自由で」「もう遠出は無理だ」「体力の低下で」「夫(妻)が・・・」等々欠席の理由も様々です。皆さん、気持ちは若くても身体は正直です。祈健康!!

『朝・昼・夜4』おどろきします

『3人寄れば文殊の知恵』と言いますが、今は3人寄れば「猿害」の話題です。如何にもならない「猿害」に、良い知恵はないのかな。